

キッズニアでの体験でこどもの自立心が育まれ、 自己肯定感や自己効力感を高める傾向が定量的に明らかに ～「キッズニア白書 2021」発行、保護者とこども 1,292 組の調査結果より～

こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」の企画・運営を行う KCJ GROUP 株式会社（本店：東京都千代田区、代表取締役社長：圓谷 道成、以下 KCJ GROUP）は、大学・大学院などの教育機関、専門家の皆様と共同研究を実施し、その結果を「キッズニア白書」として 2014 年から定期的に発行しています。

2021 年度は、株式会社 KDDI 総合研究所の協力のもと、「キッズニア」で育まれる非認知能力（IQ や点数、指数などで測ることの困難な力・「生きる力」）などを題材に研究を進めておりましたが、それらをまとめた「キッズニア白書 2021」が本日から公表となります。

「キッズニア白書 2021」は、こちらよりご覧いただけます。

https://www.kidzania.jp/corporate/common/pdf/KidZania_wp_2021.pdf

■「キッズニア白書 2021」のポイント

「キッズニア」の中での体験やコミュニケーションにより育まれたこどもの自立心が自己効力感および自己肯定感の成長を促し、さらに日常生活における非認知能力の醸成へと広がっている様子を定性と定量の両側面から調査しました。調査概要とポイントは以下の通りです。

研究 1：キッズニア体験を通じた非認知能力の醸成（定性調査）

調査時期：2020 年 7 月

調査協力者：小学生とその保護者 18 組

募集方法：キッズニア東京「こども議会」（※1）議員とその保護者に調査協力を呼びかけ

調査方法：参与観察およびインタビュー

調査結果のポイント＜定性調査の結果は図 1 を参照＞

- ・アクティビティ（※2）の選択においては、保護者がこどもの自立を促す「足場かけ」が行われる傾向。
- ・アクティビティ体験では、保護者と離れた環境でのタスク遂行や周囲と協調する様子を確認。
- ・アクティビティ体験後のこどもは表情や会話で達成感を表現。保護者やスーパーバイザー（※3）からのポジティブなコメントはこどもの自立・自信を促進し、日常生活における非認知能力へと越境。

＜図 1：キッズニアでの非認知能力の醸成プロセス＞



研究 2 : キzzaニアから渡り行く非認知能力の広がり (定量調査)

調査時期 : 2020 年 11 月

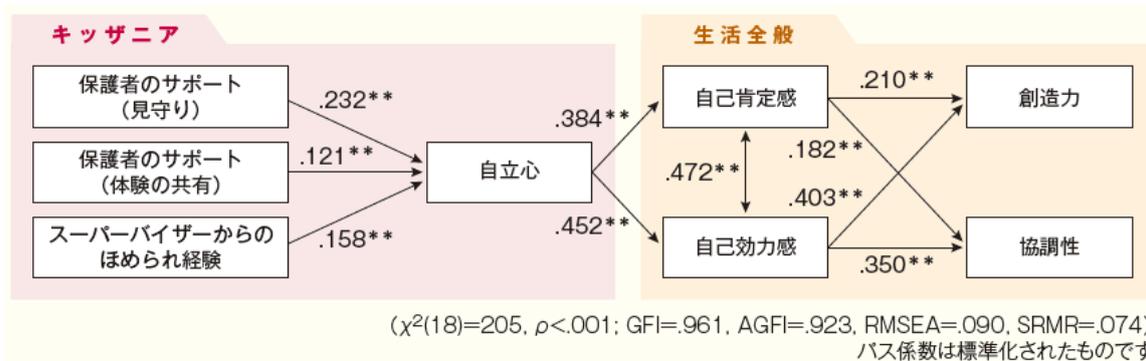
調査協力者 : 過去 1 年半の間でキzzaニアに来場したことのある保護者とこども 1,292 組

調査方法 : Web アンケート調査

調査結果のポイント

- ・ 定性調査の結果から導き出したパスモデルを統計分析した結果、保護者のサポート（見守りや体験の共有）およびスーパーバイザーからのポジティブな声かけが「キzzaニア」における自立に関する傾向。そこから生活全般における自己肯定感や自己効力感が育成され、創造力および協調性という非認知能力の成長を促進。〈パスモデルは、図 2 を参照〉
- ・ 日常生活に関する自由記述欄のテキストを自己効力感の高・中・低でグループ分けをして対応分析したところ、自己効力感が中・高グループほど苦手なことにチャレンジするなど主体的・協調的な活動が増加する傾向。
- ・ キzzaニアで醸成されると保護者が考えている非認知能力は、回答数順にチャレンジ精神・行動力・自立心が上位 3 位を占めた。

〈図 2 : キzzaニアでの体験から日常生活に至る非認知能力の影響関係を示したパスモデル〉



特別対談 : これからの時代を生きるこども達に養ってほしい非認知能力とは

登壇者 : OECD (経済開発協力機構) 東京センター所長 村上由美子氏

KCJ GROUP 株式会社 代表取締役副社長 宮本美佐

内容

予測困難な VUCA 時代、こども達の成長にとって大切なことは何か。「つながる力」や「多様性」というキーワードが提示された、未来へ向けた対談。

※1 こども議会 : キzzaニアの街をより良くするために定期的に話し合いや検証などの活動をしている約 20 名の議員で構成される組織。任期は 2 年間で、対象年齢は応募時点で小学 2 年生～5 年生。

<https://www.kidzania.jp/tokyo/about/project/> (キzzaニア東京 こども議会)

<https://www.kidzania.jp/koshien/about/project/> (キzzaニア甲子園 こども議会)

※2 アクティビティ : キzzaニアでの職業・社会体験

※3 スーパーバイザー : こども達に職業体験の手順やその仕事の意義や本質を“職場のちょっと先輩”という立場で伝え、共に仕事をやり遂げるキzzaニアのスタッフ。

〈参考資料〉

■キzzaニア白書 について

KCJ GROUP では、大学・大学院などの教育機関、専門家の皆様と「キzzaニア」に関する様々なテーマで共同研究を実施し、研究結果を「キzzaニア白書」としてまとめています。

過去のキzzaニア白書はこちらよりご覧いただけます。

<https://www.kidzania.jp/corporate/whitepaper/>

■ KCJ GROUP／キッズニア について

KCJ GROUP は、3 歳から 15 歳までの子ども達の職業・社会体験施設「キッズニア東京（2006 年 10 月開業）」「キッズニア甲子園（2009 年 3 月開業）」の企画・運営をしています。「キッズニア」は、現実社会の約 2/3 サイズの街並みに、実在する企業が出展する約 60 のパビリオンが立ち並び、約 100 種類の仕事やサービスが体験できます。キッズニアのコンセプトは、「エデュケーション（学び）」と「エンターテインメント（楽しさ）」を合わせた『エデュテインメント』。子ども達が好きな仕事にチャレンジし、楽しみながら社会のしくみを学ぶことができる「子どもが主役の街」です。

<https://www.kidzania.jp/corporate/>

キッズニア東京 <https://www.kidzania.jp/tokyo/>

キッズニア甲子園 <https://www.kidzania.jp/koshien/>